

第79回 定時株主総会

2026年6月25日

事業の概況

データセンター 関連分野



投資競争が一段と加速

PC/スマートフォン 関連分野

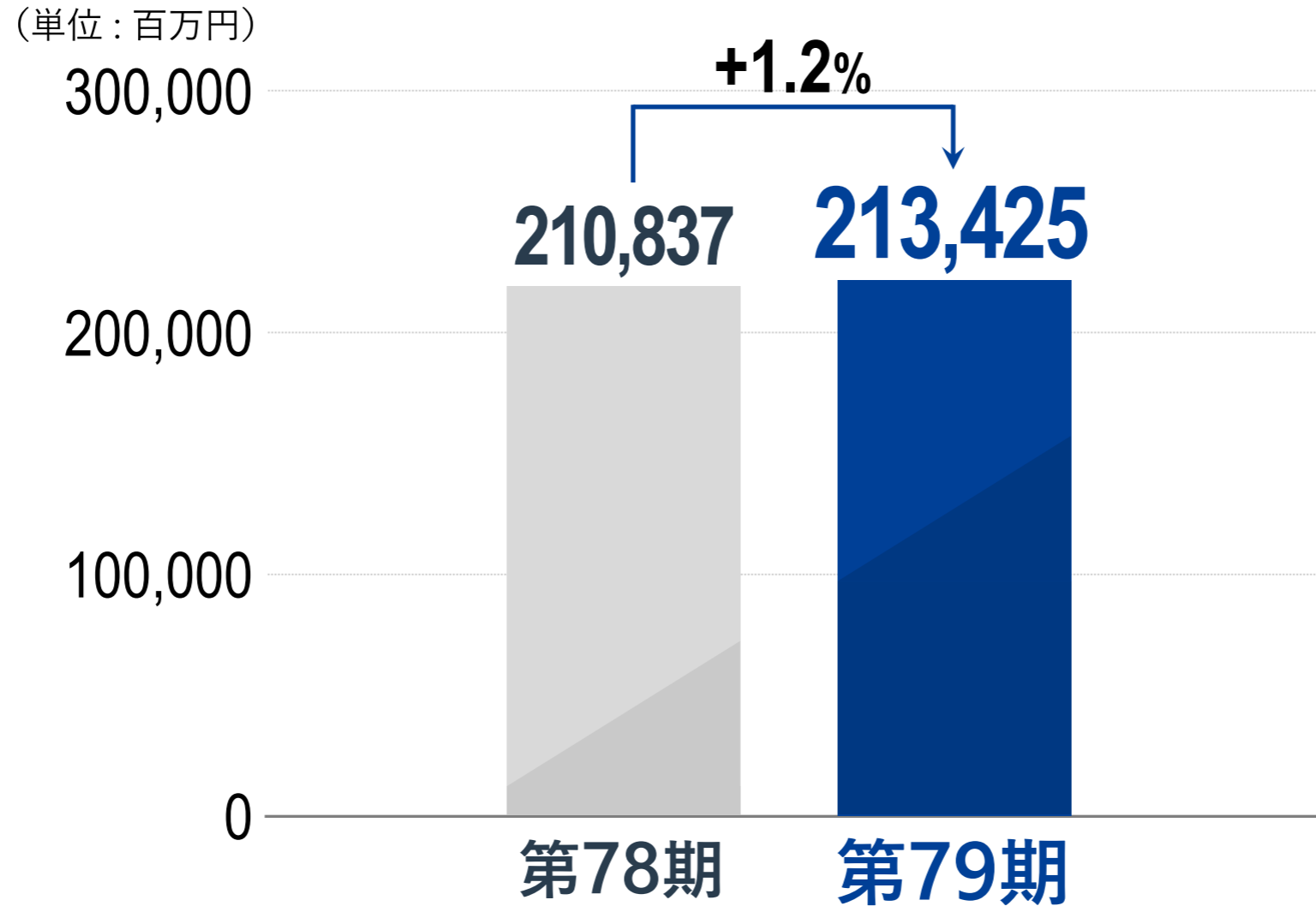


減少傾向で推移

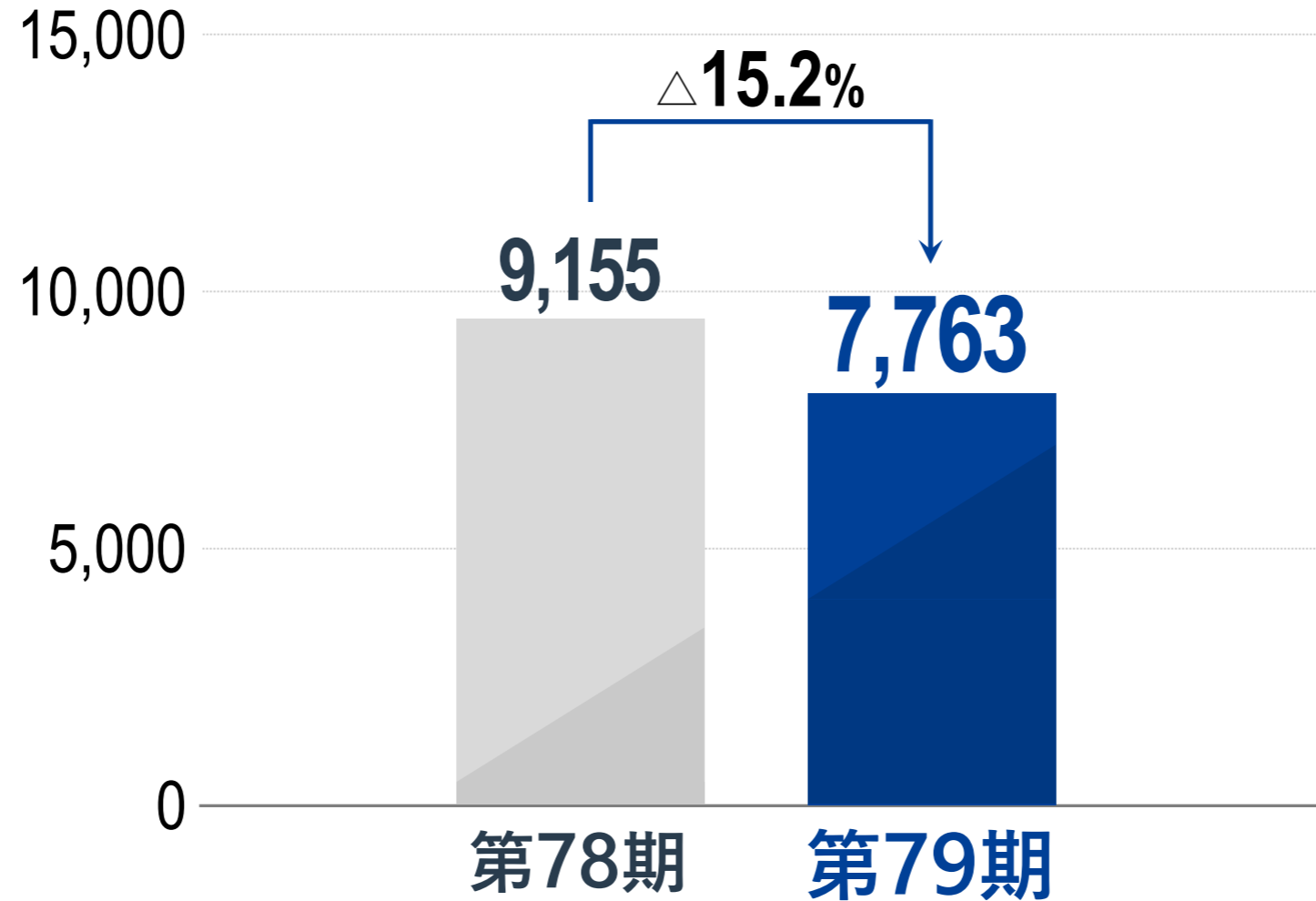
産業機器分野

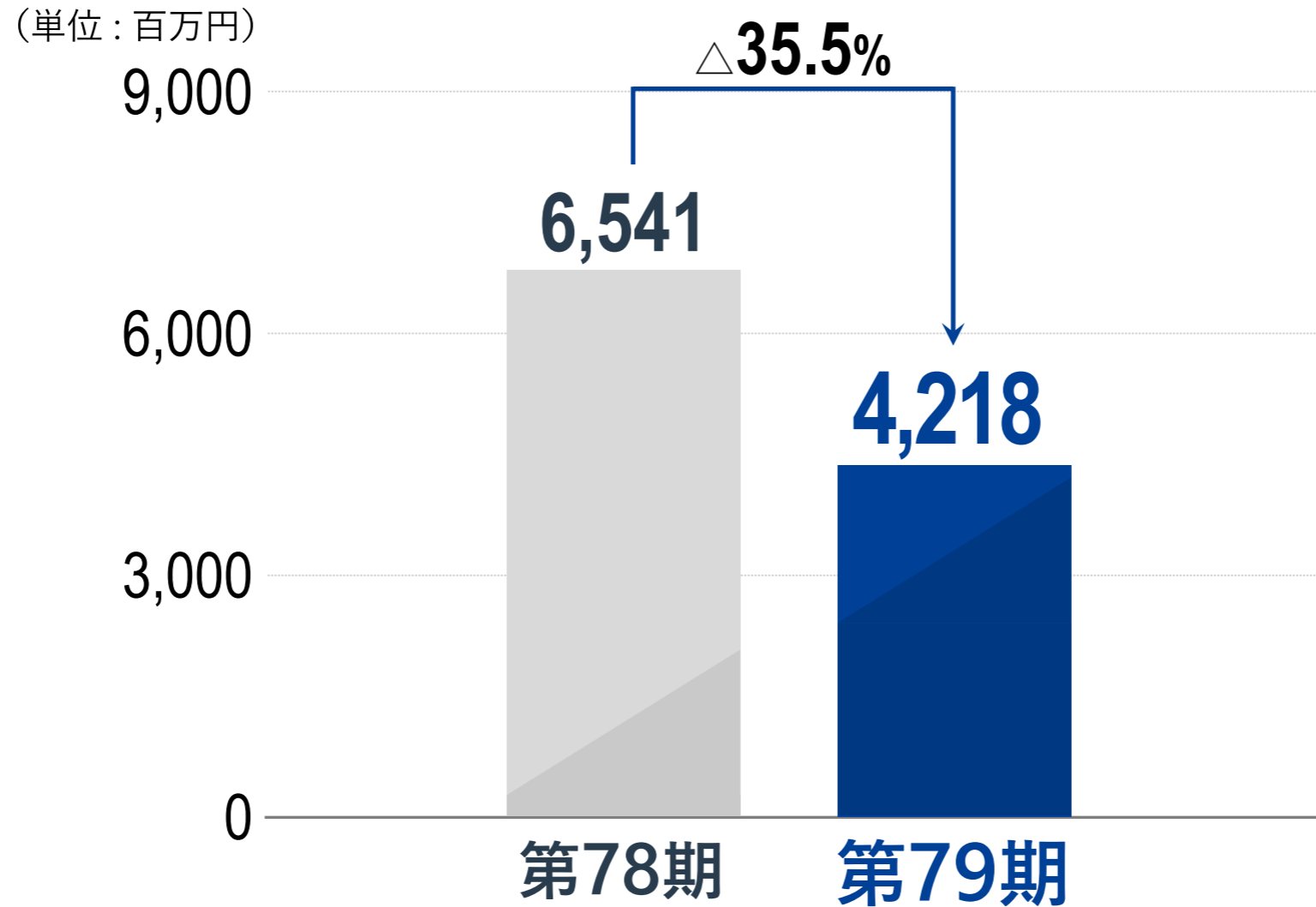


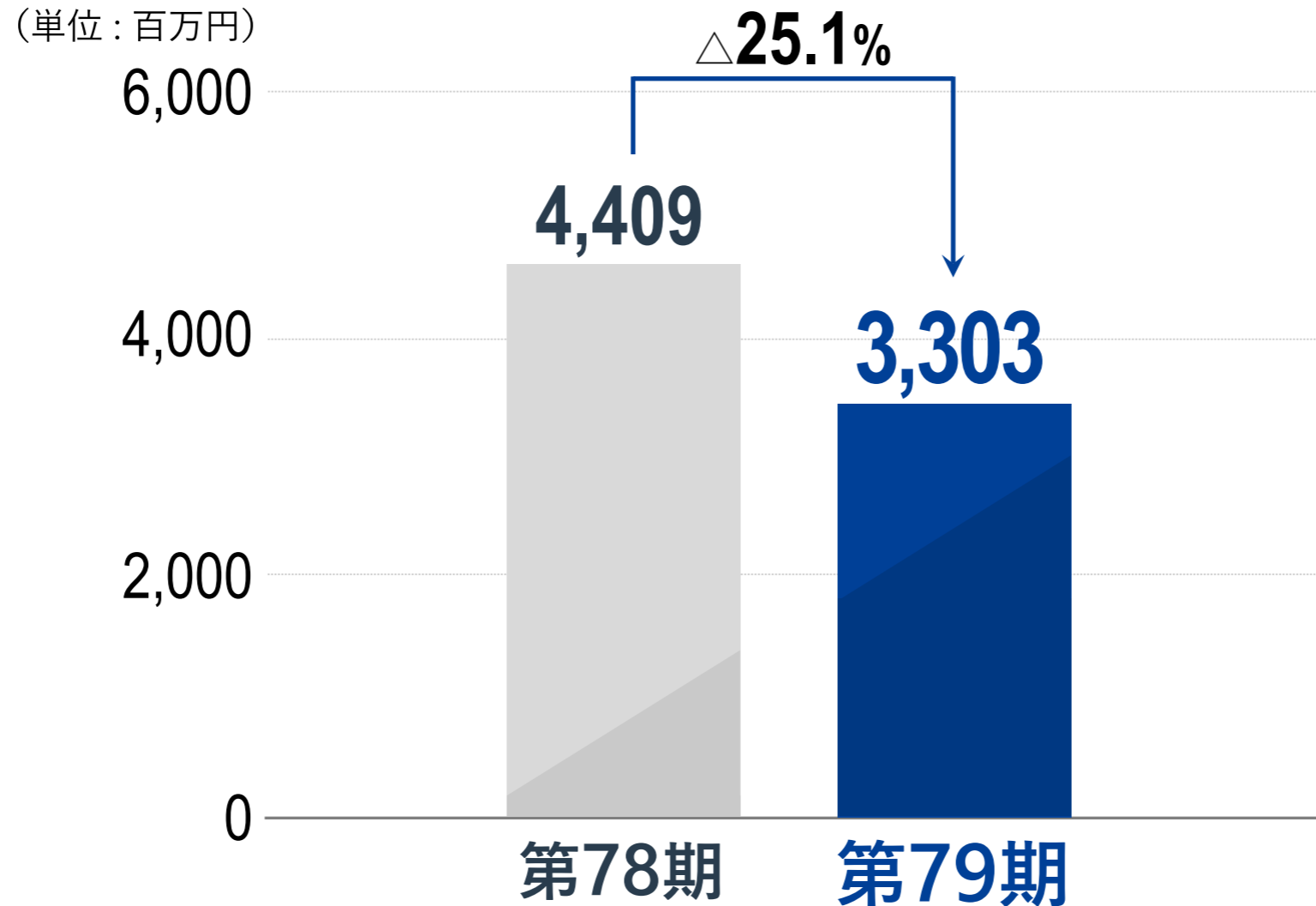
一進一退



(単位：百万円)

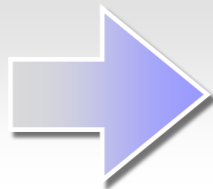






セグメント別の業績

産業機器向け



低調に推移

モビリティ向け
民生機器向け



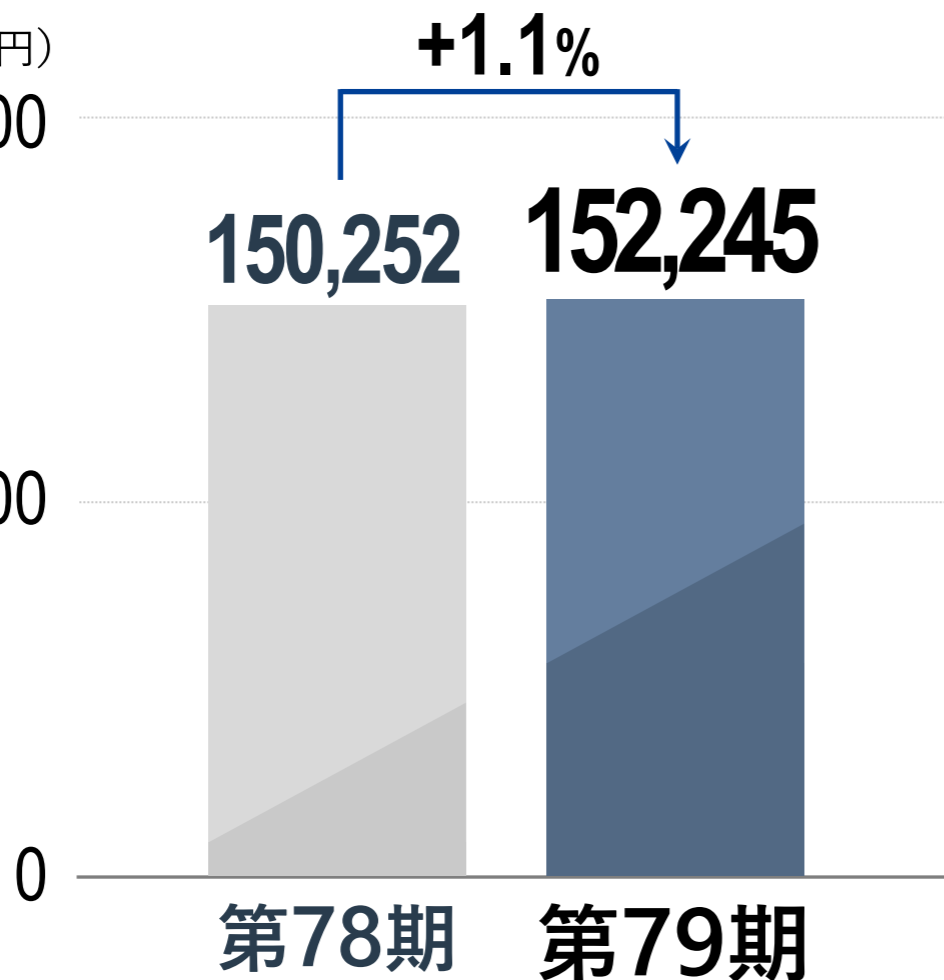
堅調に推移

➤ 売上高

(単位: 百万円)

200,000

100,000

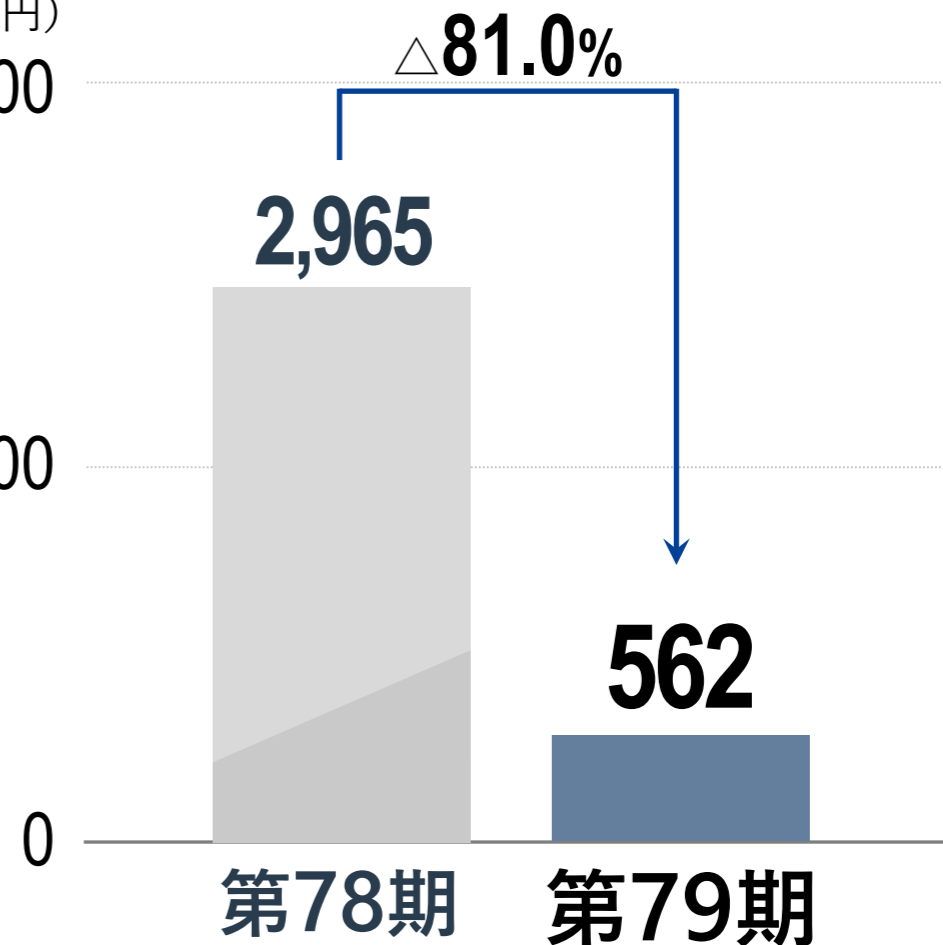


➤ 経常利益

(単位: 百万円)

4,000

2,000



航空宇宙機器



大きく伸長

➤ 売上高

(単位：百万円)

80,000

40,000

0

第78期

第79期

+2.2%

57,336

58,623

➤ 経常利益

(単位：百万円)

4,000

2,000

0

第78期

第79期

+9.8%

3,342

3,670

通信インフラ向け
時刻同期システム



需要が減少

ソフトウェア製品



需要が減少

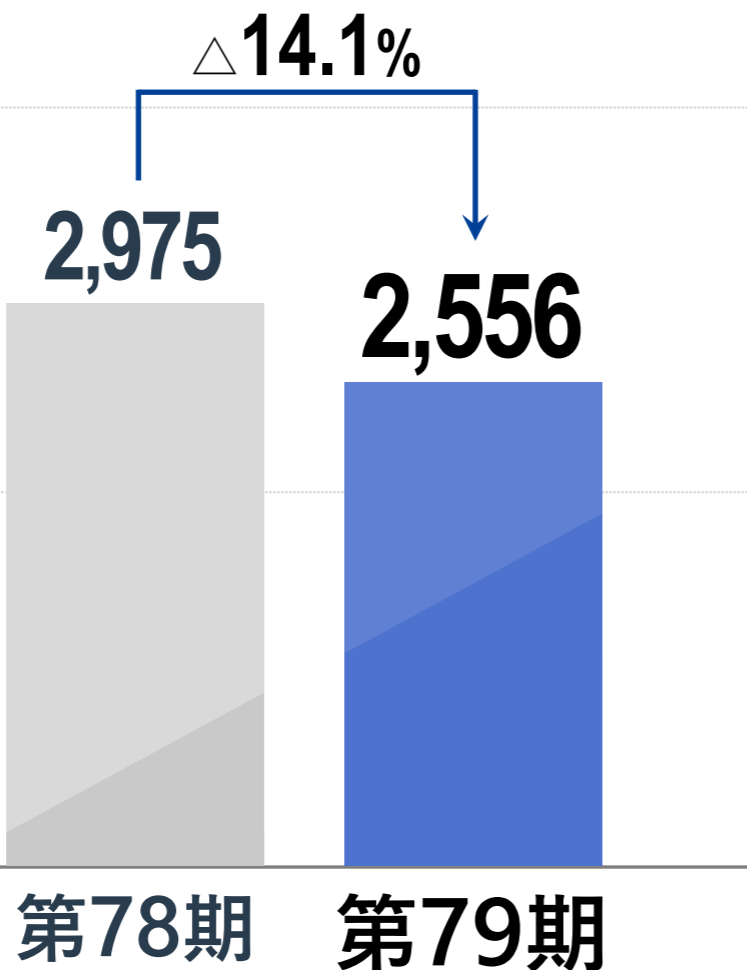
➤ 売上高

(単位: 百万円)

4,000

2,000

0



➤ 経常利益

(単位: 百万円)

300

150

0

-150



連結計算書類

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
流動資産	130,607	129,298	△ 1,309
固定資産	14,566	15,702	+1,136
資産合計	145,173	145,001	△ 172

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
流動負債	79,222	76,137	△ 3,085
固定負債	5,168	6,074	+906
負債合計	84,390	82,211	△ 2,179

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
株主資本合計	49,742	51,399	+1,657
純資産合計	60,782	62,790	+2,007
負債純資産合計	145,173	145,001	△ 172

単体計算書類

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
流動資産	100,138	100,409	+271
固定資産	9,386	9,538	+152
資産合計	109,524	109,948	+423

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
流動負債	65,016	62,655	△ 2,361
固定負債	4,290	4,950	+660
負債合計	69,305	67,605	△ 1,700

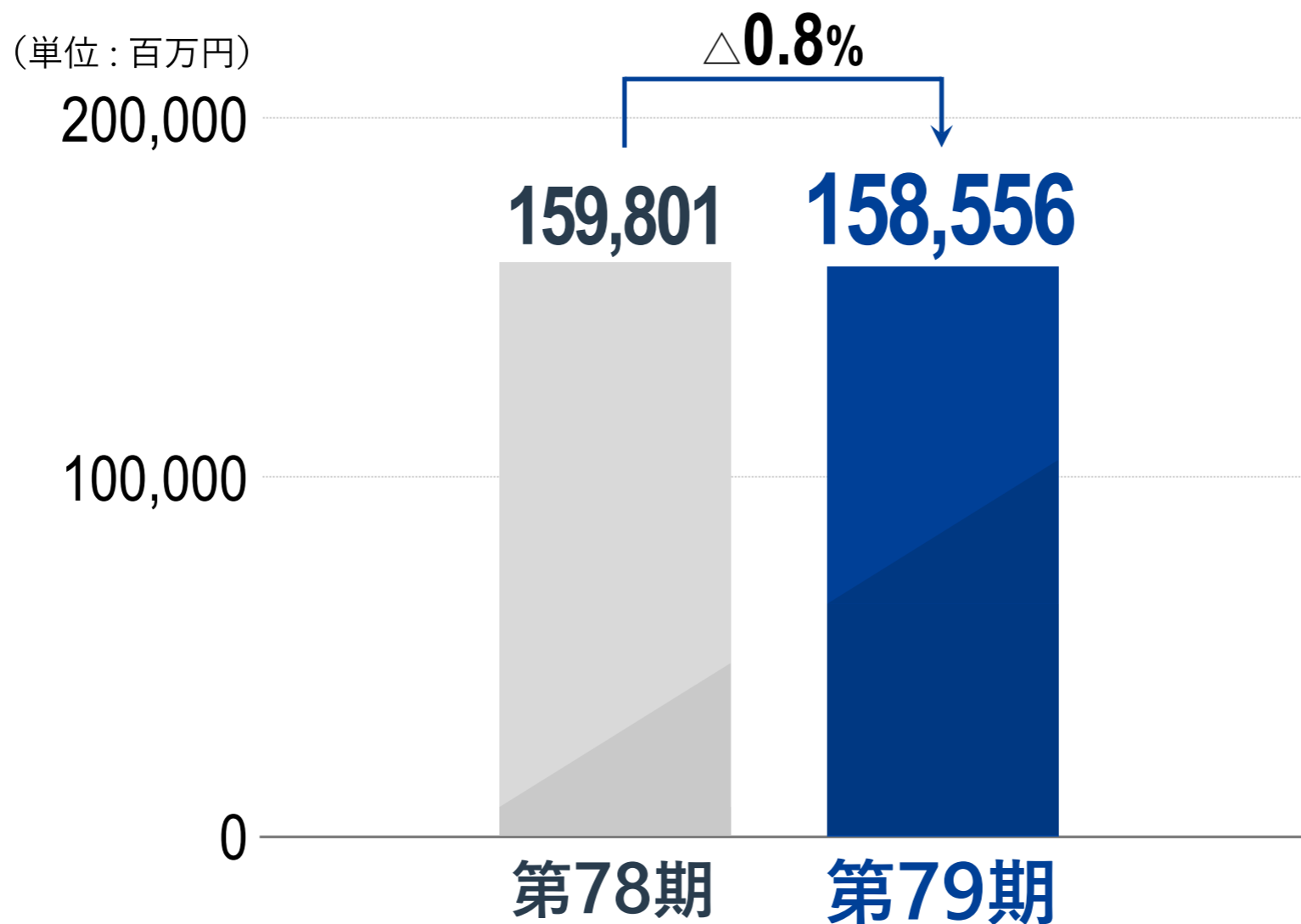
資産の部

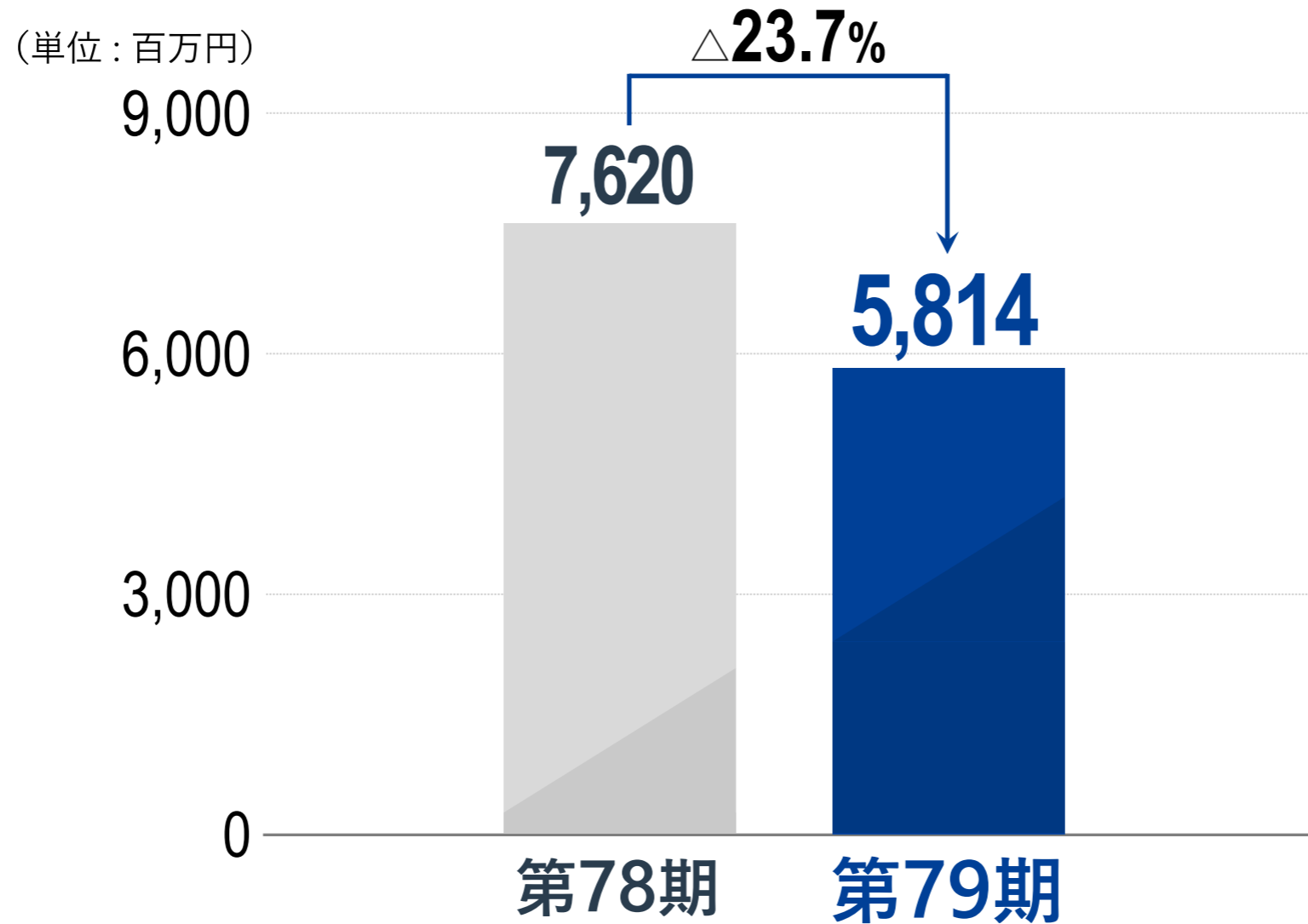
負債の部

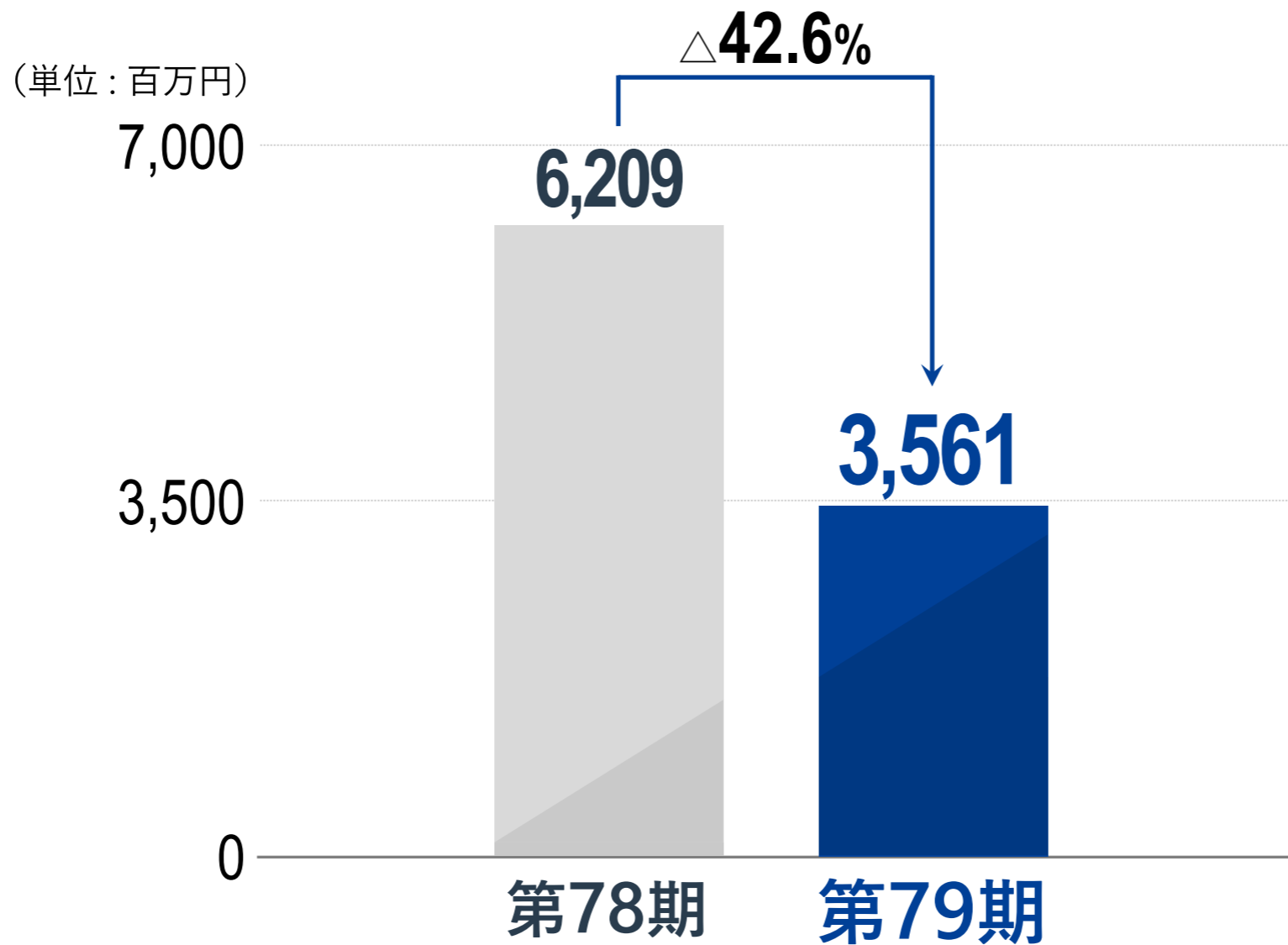
純資産の部

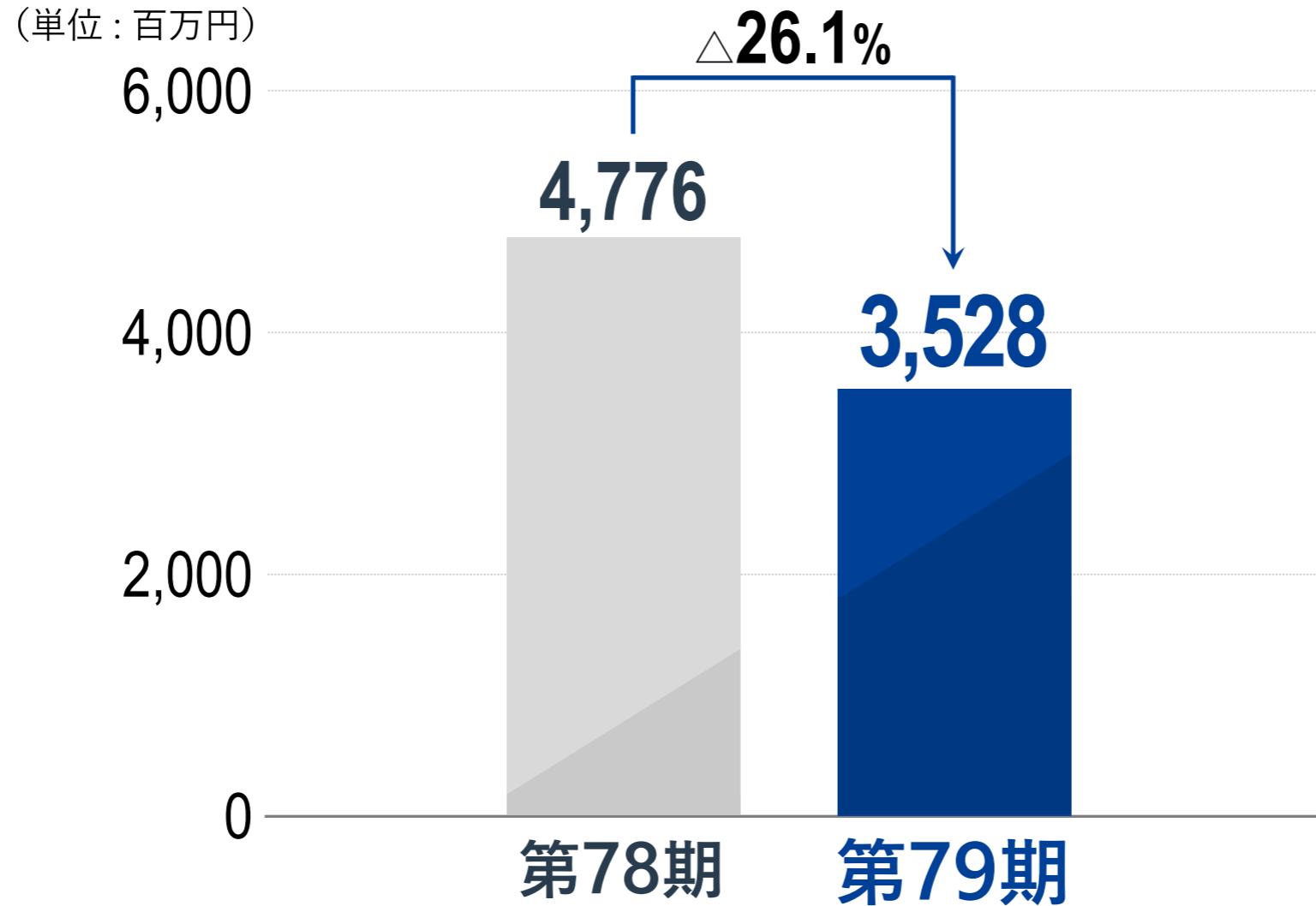
(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
株主資本合計	38,985	40,867	+1,881
純資産合計	40,218	42,342	+2,124
負債純資産合計	109,524	109,948	+423









対処すべき課題

地政学リスクに伴うサプライチェーンの再編や通商政策の動向を注視

車載・産業用エレクトロニクス技術の進展

省エネルギー化などのサステナビリティ対応

中長期的には
半導体・電子部品市場の安定的な成長が期待される

2025年度-2027年度 中期経営計画 丸文 Nextage 2027

- ▶ 独自の価値を提供する**オンリーワンのエレクトロニクス商社**として、**さらなる成長を図る**
- ▶ 「レスポンシブル・ビジネス」を通じて、**社会価値と経済価値を創出し、社会の発展に貢献**

レスポンスブル・ビジネス

1. レスポンスブル・ビジネスの追求

事業戦略

2. 新規事業における収益化実現

3. 既存事業における基盤拡充

4. グループ・シナジーの強化

基盤戦略

5. 価値創造モデル推進のための戦略管理高度化

6. 人的資本戦略の展開



- 独自のビジネスモデルとバリューサイクルの循環を通じて、
経済的価値のみならず社会的価値を創出
- 環境・社会の課題解決にも貢献

— 関連テーマ 地球環境の持続可能性の回復と保全への寄与
安全で豊かなサステナブル社会の実現
最先端技術とソリューション開発を通じた社会課題の解決
ステークホルダー・エンゲージメントの継続的向上

当社の取り組み

「事業戦略」の視点に係わる戦略テーマ

デバイス事業の
事業戦略

基盤強化事業

- 1 成長分野への選択・集中
- 2 商流の拡大・維持、再構築支援
- 3 新技術・商材の開拓、受動部品の拡販
- 4 グループシナジーの発揮
- 5 マスマーケットにおける販売チャネルの拡大

当社の取り組み

「事業戦略」の視点に係わる戦略テーマ

システム事業の
事業戦略

成長牽引事業

- 1 新規事業の開発・新規商材の開拓
- 2 既存事業の領域・規模拡大
- 3 国家推進施策の関連ビジネス取り込み
- 4 グループ経営強化・事業基盤拡充
- 5 海外オペレーションの確立

当社の取り組み

「事業戦略」の視点に係わる戦略テーマ

アントレプレナ事業の
事業戦略

価値創造事業

- 1 新規事業の開発
- 2 提供価値の独自性発揮
- 3 AI関連商材の開拓・拡販
- 4 戦略的な協業機会の追求

当社の取り組み

「基盤戦略」の視点に係わる戦略テーマ

- 1 パーパスと融合する人的資本戦略の高度化
- 2 盤石なグループガバナンスの構築と運営
- 3 効果的かつ安定的なITシステム及びインフラの開発・運営

施策管理の高度化

人的資本の強化

当社の価値創造モデルを通じた
持続的企業価値向上のための基盤を確固たるものへ

基本方針の着実な実行を通じ、
中期経営計画最終年度となる2027年度に、
連結経常利益80億円以上、連結ROE9.0%以上を財務目標とし、
収益性と株主資本効率の向上に取り組んでまいります。



Marubun

Since 1844